

事業所名

いろは児童発達支援事業所

支援プログラム

作成日

2025年

1月

9日

法人（事業所）理念	子どもたちが輝ける居場所となり、ここに通った時は本当に楽しかったと感じてもらえるような時間を過ごす中で、ひとつでも子どもたちに気付きや学びがある事業所にすることそして、ここで学んだことが社会で役立つような療育をめざしていく。また、保護者の方たちも私たち職員も共に成長していけるような事業所にしていく					
支援方針	言語聴覚士による個別指導を基本とする。利用児の生活年齢や発達年齢など、その時の発達段階に合わせた指導を実施していく。また、併用して集団療育を行い、他児との関りの学びの場になるような支援プログラムを立案し実施していく。家族支援に関しては家族状況や保護者の方の希望や相談を聞き、幼稚園や保育園、他の事業所等での社会性などが育つよう支援を行う。その他、家での過ごし方等や保護者の方の心配事などを聞き、一緒に解決が出来るように適宜アドバイスを行う その他、利用児が通園している幼稚園・保育園・他の事業所、病院などと密に連携を取り、地域で利用児と保護者の方をサポートできるようにしていく					
営業時間	8時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	集団療育の中で、基本的な生活習慣（身支度や整理整頓、排泄、手洗いなど）を身に付けられるように、個別での対応を実施する。徐々に声かけやサポート減らし、見守りでの指導にスイッチしていく。上手に出来ている際は称賛し、正の行動を増やすことで生活習慣を身に付けられるようにしていく。健康面は、個別療育、集団療育共に来所時に必ず検温を行い、体調面の確認を行う。また、身体チェックを集団療育時は実施し、異変があった時は保護者の方に確認を行う				
	運動・感覚	個別療育では、微細運動面の指導を実施することがある。ボタンやファスナー、ハサミや鉛筆などの練習を行い、幼稚園や保育園で困らない手先の運動を丁寧に練習していく。視知覚認知の部分についても簡単な評価を行い、就学に必要な目と手の協応などを早い段階から課題として取り入れる。集団療育では散歩、公園での粗大運動の他、室内での運動遊びなどをプログラムに入れ、体を動かす楽しさを他児と共に共有していく				
	認知・行動	走り回る、着席が出来ないなどの集団生活での困りごとを解決できるように、まずは個別療育の中で、着席する、行動をコントロールするなどの日常の課題を実践していく。個別で出来たことを集団療育で活かせるように引継ぎ、徐々に幼稚園などでも同じ行動がとれるように促していく。 また、自分の考えや行動に対して、常に考えてみるといった経験を積んでいき、自分の意思を表現できるように指導を実施する				
	言語コミュニケーション	言語聴覚士により個別療育を実施し、現段階での利用児の言語理解、言語表出、コミュニケーション面の段階を評価していく。そこから、その児にあったプログラムを立案し、1対1で指導を行う。保護者の方に基本的には同席をもらい、その時々で実施している課題の意図や、自宅で出来る遊びなどを紹介し、STが実施している様子を見てもらい、自宅でも同じように関わられるようにアドバイスを行う。また、発音に問題のある児に対しては必要な時に発音の指導（構音訓練）を実施している				
	人間関係社会性	個別療育、集団療育共に挨拶を大切に指導を実施している。朝や帰りの挨拶の他、「お願いします」「ありがとうございました」などの必要な挨拶を利用開始から実践していく、挨拶をすることが当たり前環境を整えている。また、物の貸し借りや、喧嘩をした後などに必要なスキルをその時々で伝えていく。年長など、スキルを身に付ける必要がある年齢の児に対しては、ソーシャルスキルトレーニング（SST）のグループ指導内で、疑似体験をしていながら必要な時に行動ができるような指導を実施する				
家族支援	個別療育時に保護者との情報共有や相談、その日の課題のフィードバックなどを行い、現段階の利用児の様子を把握し、自宅で出来ることなどをアドバイスする。また、きょうだい児に関しても、同席している際は声をかけ、ストレスを抱えていないか？などの確認を適宜行っている。保護者の方にも、きょうだい児に対しての関わり方などを適宜アドバイスしている	移行支援	未就園児に対しては、就園する幼稚園の相談から、利用日数などの調整などを保護者の方と一緒に検討していく。必要に応じて、早期に園へ連絡し、スムーズな登園ができるようにサポートを行う。転園希望のある児に対しても同様。就学に関しては、早期から話しを聞き、事業所内で検査等を実施し、適切な就学先が出来るお手伝いを行う			
地域支援・地域連携	利用児の通っている幼稚園や保育園、他事業所などを訪問し、情報共有及び連携を図っている 近隣の保育園と交流を図るよう検討をしている	職員の質の向上	積極的に学会や研修会などに年に数回参加し、生涯学習を実施している			
主な行事等	8月：夏祭り 3月：巣立ちの会（卒園式） 不定期開催：保護者会					